



平成 22 年 2 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鎌 田 富 久
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 社 長 室 長 須 田 昌 樹
(T E L . 0 3 - 5 2 5 9 - 3 5 6 4)

業績予想の修正、特別損失の計上、及び役員報酬減額に関するお知らせ

平成 22 年 1 月期 業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。また、併せて特別損失の計上についてお知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成 22 年 1 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	30,473	3,256	3,000	1,889	4,823.28
今回発表予想 (B)	32,436	2,620	2,870	528	1,348.29
増 減 額 (B - A)	1,963	636	129	1,361	
増 減 率 (%)	6.4%	19.5%	4.3%	72.1%	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 1 月期)	31,156	3,232	2,138	840	2,145.22

(2)平成 22 年 1 月期通期 単体業績予想数値の修正 (平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	25,500	2,736	2,337	1,262	3,222.49
今回発表予想 (B)	29,605	3,006	3,226	3,530	9,012.40
増 減 額 (B - A)	4,105	270	888	4,792	
増 減 率 (%)	16.1%	9.9%	38.0%		
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 1 月期)	27,595	3,929	3,547	919	2,348.24

2. 修正の理由

【連結】

前回発表時の見通しに比べ、売上高につきましては製品売上高が予想を下回る見込みではありますが、ACCESS Linux Platform（以下ALP）のロイヤリティー収入増加により1,963百万円の増加となる見込みであります。

一方、受託開発案件粗利率悪化と研究開発費増加による影響を受け、通期予想に対して営業利益は636百万円減少し、経常利益は129百万円減少となる見込みであります。

また、特別損失の影響により、当期純利益は1,361百万円減少となる見込みであります。

【単体】

前回発表時の見通しに比べ、売上高につきましては製品売上高が予算未達となりましたが、ALPのロイヤリティー収入増加により、通期予想に対し、4,105百万円の増加となる見込みであります。

一方、受託開発案件の粗利率悪化と研究開発費の増加の影響を受け、通期予想に対して営業利益が270百万円の増加、経常利益は888百万円の増加にとどまる見込みです。

また、特別損失の影響により、当期純利益は4,792百万円の減少となる見込みであります。

3. 特別損失の計上について

以下の内容を主因として、単体で特別損失6,136百万円、連結で特別損失1,123百万円を計上する予定です。

子会社株式の評価損により、単体で4,570百万円の関係会社株式評価損を計上する予定です。また、子会社の経営状況を勘案し、単体で貸倒引当金繰入額として700百万円を計上する予定です。さらに、現在顧客と協議中ではありますが、当社主張が認められなかった場合に生じる損失発生見込額について製品不具合対策費用として単体・連結で525百万円を計上する予定です。

(1) 単体の特別損失の主な内訳

関係会社株式評価損	4,570百万円
貸倒引当金繰入額	700百万円
製品不具合対策費用	525百万円

(2) 連結の特別損失の主な内訳

製品不具合対策費用	525百万円
-----------	--------

4. 役員報酬の減額

通期業績予想の修正を重く受け止め、経営責任を明確にすべく、下記の通り、役員報酬の減額を決定いたしました。

報酬減額の内容

代表取締役社長 役員報酬月額の50%×3ヶ月

その他取締役（監査役、社外取締役を除く） 役員報酬月額30%×3ヶ月

当社経営陣一同は、経営管理体制の強化、及び業績改善に向けて邁進する所存でございます。何卒、ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上